

川崎市の「人」「場所」「情報」を活用した環境・まちづくり意識の普及啓発手法の構築・実践と効果検討、及び持続的展開手法・促進方策等の提案 ～「エネルギーまち歩きワークショップ」プログラムをツールとして～

株式会社エックス都市研究所・川崎市

対象分野

低炭素社会の構築

循環型社会の構築

自然共生型社会の構築

安心・安全で質の高い社会の構築

概要

今日、さまざまな環境問題に対処していくためには、市民一人ひとりが環境に対する責任と役割についての理解と認識を深め、環境に配慮した行動を実践することが求められています。

川崎市においては、環境基本条例、環境基本計画に基づき、環境教育・学習基本方針を策定し、環境教育・学習の推進を図ってきました。

株式会社エックス都市研究所（東京都豊島区）と川崎市は、2012年夏季から、エネルギーに関するワークショッププログラムを開発し、実践と効果検証を行っています。このプログラムは、「エネルギー」と「まち・地域」を結び付け、実際にまちをフィールドとして歩き、観察することで、地域や家庭で使われているエネルギーを自分たちの問題として捉え、課題や解決策を考える体験型プログラムとなっています。さらに、開発したプログラムを環境教育・学習に取り組む市民団体等と共有することにより、プログラムを実施する担い手の育成を目指します。

ワークショッププログラムの開発・実践・展開が、市民の環境に対する意識啓発や地域社会への参画につながることを期待しています。



2012年度 ワorkshopプログラムの開発・実践・展開

2012年11月、多摩区にてワークショップを行いました。実際にまちを歩き、省エネが可能な場所、災害時、優先的に電力を供給する必要がある場所など、まちづくりの視点から、地域のエネルギーについて考えました。



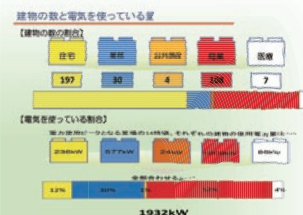
多摩区まちづくり協議会「多摩区エコスタイルプロジェクト」の皆様にご協力いただき、多摩区役所周辺を歩きました。



エネルギー活用マップの作成



まちを歩いて発見したことを発表し、マップに書き込みます。



ブロックで建物ごとの電気使用量を表します。

完成したエネルギー活用マップ



天秤を使い、エネルギーの使用量に対して、エネルギーをどれだけ減らせばよいか、創ればいいのか、エネルギーのバランスを可視化します。

